

## 目標達成計画

作成日: 令和4年2月9日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7 21 36	入居者一人ひとりの状況に合わせた生活が送れるように日々心がけている。しかし、食堂で過ごしている、入居者からの発信が少なくなっている。また、他者との交流機会が少ない方もいる。入居者への話題の提供、交流のための支援を工夫し、入居者一人ひとりが孤独感を感じず、安心できるような関わりや声かけを行っていききたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人として、「生活者」としての尊厳が尊重される支援を行う。</li> <li>入居者一人ひとりに対して、適切な声のかけ方、関わり方を行うことができる。</li> <li>他者と楽しく交流できるような時間、機会を増やす。</li> <li>入居者にとって楽しい会話、話題を提供できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体調に合わせて食堂で過ごす時間を作る。</li> <li>居室でも他入居者と交流できる工夫をする。</li> <li>職員の会話力、汲み取り力、アセスメント力のスキルアップを図る。</li> <li>ケア記録など、入居者の状況や様子を職員間で共有できるようなわかりやすい記録の書き方を工夫する。</li> </ul>	12ヶ月
2	48 49	日々、楽しく取り組めるような体操を提供するように努めている。しかし、外出機会も減り、食堂で座って過ごす時間が多いため、下肢筋力が低下が目立っている。散歩に出かけても、疲れやすく、活動意欲の低下にもつながる。 ホーム内での生活が中心になっている現状において、下肢筋力の低下を防ぐための効果的な取り組みを充実させることが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の中で楽しく効果的に身体を動かし、活動意欲を向上させることができる。</li> <li>近所の散歩やドライブなど短時間の外出を楽しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色々な体操や運動を効果的に楽しく行えるような工夫をする。</li> <li>立って行うなど身体を使う家事活動を用意する。</li> <li>ホーム内を楽しく歩くことができるような工夫をする(廊下の壁面飾りなど)。</li> <li>足の運動を行う時間を増やす。</li> <li>近所の散歩や自動販売機にコーヒーを買いに行くなど短時間外出やドライブを楽しめるように計画的に支援する。</li> </ul>	12ヶ月
3	23 25 37 48	各入居者の「できること」に着目したアセスメントを行い、日々の生活の中で「できる力」を発揮できるような支援を心がけている。ホーム内での生活が中心である現在、各入居者の「できること、持っている力」を見つけ出すことにも着目した支援を行い、さらなる生活の「楽しみ」や「役割」、「充実感」に繋げていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>各入居者の「できる力」「できること」を把握するとともに、「～を支援したらできること」にも着目し、入居者の活動や「役割」を増やす。</li> <li>日常生活の中で、各入居者の意向や要望を汲み取り、実現させることで生活の「楽しみ」をさらに増やす。</li> <li>入居者の思い、状況、支援方法や介助の程度などの共通認識を持ち、統一した支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>意見交換ページや意向・要望シートを活用し、職員間で情報を共有する。</li> <li>各入居者の「できること」に配慮した活動を工夫する。</li> <li>「～すればできる」というやり方を見つけ、共有できるような工夫をする。</li> <li>介助の仕方、程度がわかるような家事・余暇活動の個別一覧表の作成、更新を行う。</li> <li>個人の衣服の修繕などの活動の仕方を工夫する。</li> </ul>	12ヶ月
4	40 48	入居者の日常生活における楽しみの1つが、「食べること」である。入居者の活動と結びつけた「食への興味、関心を高める」取り組みを行い、生活の「楽しみ」を増やしていきたい。	<ul style="list-style-type: none"> <li>作ること、食べることを通して、生活の楽しみ、喜びを感じ、活動意欲を向上させることができる。</li> <li>家庭菜園での栽培を通して、育てることを楽しみ、様々な役割をもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宅配注文カタログなどを活用し、食への楽しみを膨らませる。</li> <li>意向、要望シートを活用し、献立作りに反映させる。</li> <li>定期的にバイキングや配達弁当などスペシャルメニュー日を計画する。</li> <li>ベランダでの家庭菜園を活用する。</li> <li>手作りおやつを計画的に取り組む。</li> </ul>	12ヶ月